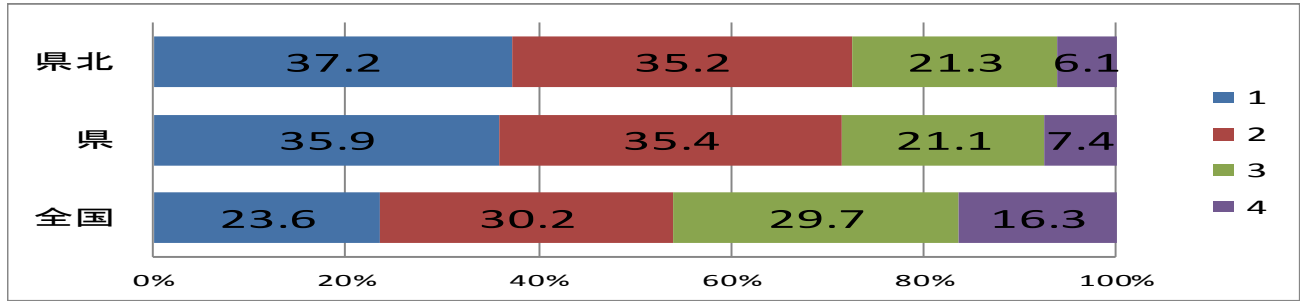


＜小学校＞

1 学習習慣が身に付いている県北の子どもたち

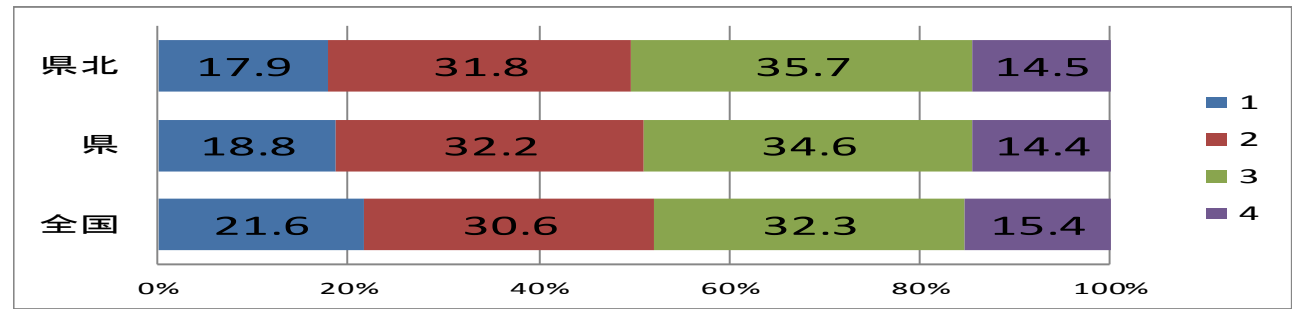
質問（32） 家で学校の授業の復習をしているか。



- 肯定的な回答の割合が72.4パーセントと全国を大きく上回っている。このことは、その他の学習習慣に関する質問でも同様の傾向が見られる。
- これらの結果から、児童は家庭学習に多くの時間を費やしていることがわかる。教師はそのことが児童の学力向上につながるように、家庭学習の質を高める工夫をしたり、どのような学習をすればよいかを具体的に分かるような学習の仕方を指導したりしていくことが望まれる。

2 友達の前で発表することが苦手な県北の子どもたち

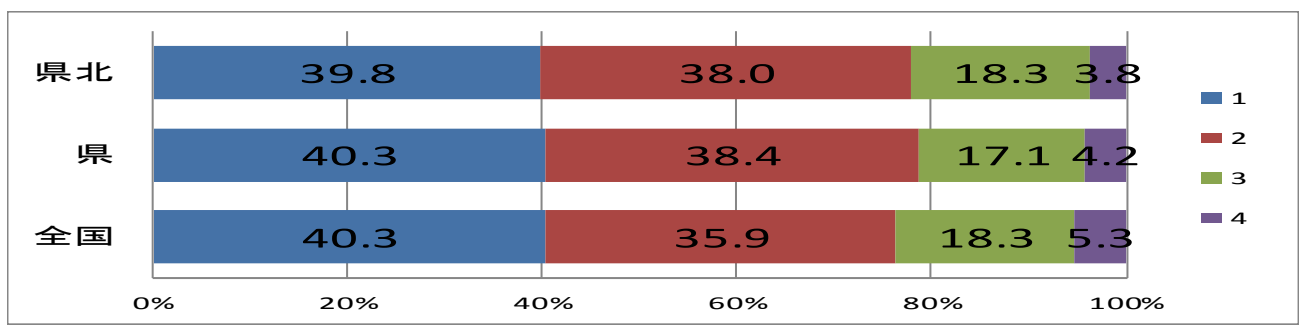
質問（7） 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意か。



- 肯定的に答えている割合が全国や県を下回っている。
- これらの結果から、教師は、誰もが話せるような雰囲気づくりをするとともに、どの児童からも発言を引き出せるような発問や活動を工夫することが望まれる。

3 「振り返る活動」の充実が大切

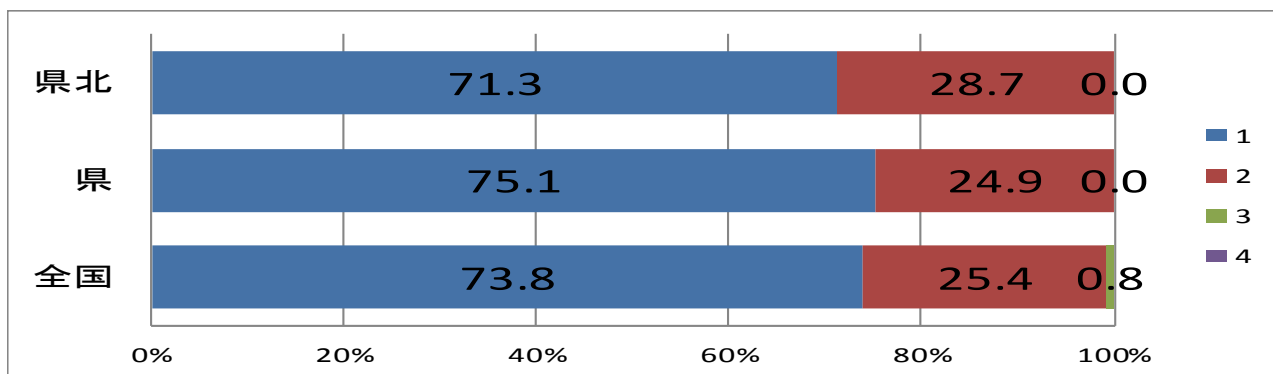
質問（62） 学習内容を振り返る活動をよく行っていたか。



- 肯定的な回答が県全体の数値よりは若干下回っているものの、全国の数値を超えている。
- これらの結果から、授業を担当する教師側も「振り返る活動」の大切さについて意識してきているとともに、児童も学習内容の振り返りについて自覚していることが分かる。今後、「ふくしまの『授業スタンダード』」をもとに振り返る活動に更に力を入れていくことにより、学習内容の定着が期待できる。

#### 4 組織的・計画的に校内研修に取り組む先生方

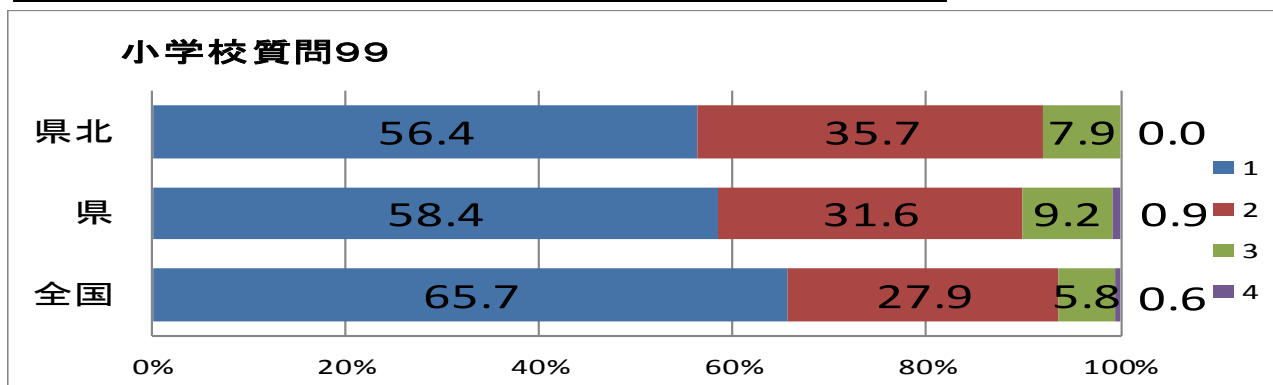
##### 質問（98） 組織的・計画的に研修を行っているか。



- 校内研修体制に目を向けてみると、質問（98）「組織的・計画的に研修を行っていますか」という質問では、全ての学校において研修主任をリーダーとして全校体制で授業改善に取り組んでいることが分かる。
- 今後も児童の学力の実態を的確に捉えて目指す児童像を描き、その実現に向けて全教員が同じ方向性の研修に取り組んでいきたい。そのために、「ふくしまの『授業スタンダード』」を活用しながら、互見授業、定期的な学年部会、全体協議会等を充実させ、より最適な指導法を見いだせるようにしたい。

#### 5 外部講師を招聘した研修の充実を提案します

##### 質問 講師を招聘するなどの校内研修を行っているか。



- 「講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか」の質問について、県北域内としては全国平均と大きな差はなく、外部講師を招聘した研究授業に取り組んでいることが分かる。
- 今後、外部講師による指導助言に加え、他校の教員への授業公開、異校種の教員への授業公開等、客観的な評価を得る機会の幅を広げて授業改善に取り組むことで、校内研修の充実・発展が期待できる。